

新型コロナの影響を受けている地域経済や住民生活を支援

新型コロナ対策予算



自治体の新型コロナ対策を支援する国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」。感染症対策などに必要な事業を、地域の実情に応じて活用できる交付金です。市では、感染拡大防止のための環境整備や市民・事業者を支援する取組を進めます。
 問 地域活力創生室 ☎ 63-7782

▼「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した主な事業



感染拡大防止のための環境整備

災害時の感染対策のため、消毒液などを整備

419万円

市災害対策本部や地域災害対策本部(各市民センターに設置)の感染対策のため、非接触体温計や消毒液などを整備

小学校の低学年棟のトイレを洋式化

3,400万円

低学年児童が主に利用する建物のトイレの洋式化・乾式化の改修工事費用 ※乾式化…水を使わず、ほうきなどで床を清掃することができるトイレ

小中学校校内のネットワークを拡充

473万円

分散学習を行うため、無線ネットワークの増設工事費用

地域経済の回復と市民の暮らしを支援

プレミアム付商品券を発行

1億3,200万円

観光・飲食店をはじめ、感染拡大により影響を受けた事業者を支援
 ▶詳しくは16ページに掲載

「日帰り」・「市内宿泊」の代金の一部をキャッシュバック

788万円

市内の「みえ安心おもてなし認証店」での宿泊や食事などの代金の一部をキャッシュバック
 ▶詳しくは5ページに掲載

住宅リフォームなどへの補助金

3,150万円

移住促進やコロナ禍での住宅環境改善のための住宅リフォームなどへの補助金
 ▶詳しくは広報なばり5月号に掲載予定

生活応援米の支給

3,794万円

生活困窮世帯などに1世帯当たり名産産コシヒカリ10kgを無償配布
 ▶詳しくは広報なばり3月号に掲載

伴走支援を行う「リンクワーカー」を養成

100万円

コロナ禍で見えてきた孤独・孤立している人たちに寄り添いながら、信頼関係を築き、本人のつながりづくりを支援するリンクワーカーを養成

◎掲載の事業は、令和4年度第1号補正予算に計上しています(生活応援米支給事業は、令和3年度から繰り越して実施)。
 ◎市の新型コロナ対策は、上記の交付金を活用した事業にとどまらず、今後、各省庁のコロナ関連補助金などを最大限活用しながら、必要に応じて補正予算として計上し、事業化していく予定です。

市長選挙を控え「骨格予算」として編成

令和4年度当初予算

問 財政経営室 ☎ 63-7403

一般会計は276億6,100万円

令和4年度の当初予算は、4月に市長選挙があることから、人件費や公債費などの義務的経費や継続事業に必要な経費を中心とした「骨格予算」として編成されています。政策的経費や新規事業については、新たな市長のもと、補正予算で対応します。

一般会計の当初予算は、ワクチン接種事業を計上しているほか、退職者の増加や扶助費(高齢者・児童・障害者福祉などの費用)の増により、前年度比1.2%の増加となっ

ています。また、公債費比率や市債残高は依然高い数値であり、将来を見据えながら予算編成をしています。

また、特別会計では、東山墓園造成事業特別会計で合同追悼所整備事業の完了による減額がある一方で、介護保険特別会計で保険給付費などが増となり、特別会計全体としては、前年当初予算と比較して増額となっています。



会計名	令和4年度当初予算額	前年度対比
一般会計	276億6,100万円	1.2%
特別会計		
住宅新築資金等貸付事業会計	1,980万円	△1.2%
東山墓園造成事業会計	4,900万円	△31.5%
別会計		
国民健康保険会計	84億7,890万円	△0.3%
介護保険会計	78億1,300万円	2.6%
後期高齢者医療会計	19億260万円	6.0%
国津財産区会計	17万円	△6.0%
特別会計小計	182億6,347万円	1.4%
企業会計		
病院事業会計	63億1,974万円	4.0%
水道事業会計	36億5,821万円	1.3%
下水道事業会計	57億1,528万円	△3.5%
合計	616億1,769万円	1.1%

※金額は、万円未満を四捨五入しているため、合計に誤差があります。
 ※企業会計の予算額は、収益的および資本的支出の合計額です。